

審判用紙記載例 & 通告文言

2016.06.12

出発	2.3.2	遅延行為	スタートを遅らせた
	4.4	スタート	出発合図の前にスタートした
自由形	5.1	泳法	メドレー競技の自由形で、背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライで泳いだ
	5.2	折り返し・ゴールタッチ	折り返しおよびゴールの際に体の一部が壁に触れなかった
	5.3	泳法	スタートおよび折り返し後の15mを除いて、体が完全に水没していた
15mの距離制限		スタートおよび折り返し後の15m以内に頭の一部が水面上に出なかった	
背泳ぎ	6.1	スタート	排水溝・排水溝の縁・タッチ板の縁に足をかけてスタートした
		タッチ板に足の一部に触れずにスタートした	
	6.3	泳法	うつぶせの姿勢になった(折り返し中を除く)
	6.4	泳法	スタートおよび折り返し後の15mを除いて、体が完全に水没していた
		15mの距離制限	スタートおよび折り返し後の15m以内に頭の一部が水面上に出なかった
	6.5	折り返し・ゴールタッチ	折り返しおよびゴールの際に体の一部が壁に触れなかった
		泳法	折り返しの際、うつぶせになった後、速やかに手のかきを行わなかった
折り返しの際、うつぶせになった後、手を複数回かいた			
6.6	ゴールタッチ	壁から離れた際に、体がうつぶせの状態だった	
平泳ぎ	7.1	泳法	スタートおよび折り返し後、最初の一蹴りの前にバタフライキックを複数回行った
		体がうつぶせ状態ではなかった(折り返し中を除く)	
	7.2	泳法	泳ぎのサイクルが一かき、一蹴りの組み合わせと順になっていなかった
			腕のかきが、左右対称でなかった
	7.3	泳法	両腕が胸から同時に前方に出なかった
			肘が水面より出た(折り返し時およびゴール前の最後の一かきを除く)
	7.4	泳法	手をヒップラインより後ろまでかいた
泳ぎのサイクルの間に頭が水面上に出なかった			
スタートおよび折り返し後、二かき目で両腕が内側に向かう前に頭が水面上に出なかった			
7.5	泳法	脚の動作が同時でなかった	
		脚の動作が左右対称でなかった	
7.6	折り返し・ゴールタッチ	足が外側に向かわなかった	
		足が交互に動いていた	
バタフライ	8.1	泳法	下方へのバタフライキックを行った
			折り返し・ゴールで、手が同時にタッチしなかった
	8.2	泳法	折り返し・ゴールで、手が離れた状態でタッチしなかった
			両腕を同時に水中をかかなかった
	8.3	泳法	両腕を同時に水面上を前方に運ばなかった
			両脚、両足の動作が同時でなかった
8.4	折り返し・ゴールタッチ	両脚、両足が交互に動いていた	
		平泳ぎのキックを行った	
8.5	泳法	折り返し・ゴールで、手が同時にタッチしなかった	
		折り返し・ゴールで、手が離れた状態でタッチしなかった	
メドレー	9.1	○の泳法	スタートおよび折り返し後の15m以内に頭の一部が水面上に出なかった
			スタートおよび折り返し後の15mを除いて、体が完全に水没していた
	9.2	○の泳法	個人メドレーの順序で泳がなかった
9.3	○の泳法	それぞれの種目を定められた距離の4分の1を超えて泳いだ	
	○のゴールタッチ	それぞれの種目の泳法規則に従って泳がなかった	
競技	10.2	途中棄権	それぞれの種目の泳法規則に従ってゴールしなかった
	10.3	レーン逸脱	定められた全距離を泳がなかった
	10.4	折り返し	スタートしたレーンを維持しなかった
	10.5	競泳競技の規程	折り返しを壁で行わなかった
		競泳競技の規程	自由形以外の泳法でプールの底に立った
	10.6	競泳競技の規程	自由形でプールの底を歩いた
	10.7	インターフェアー	レーンロープを引っ張った
	10.8	用具の規則	他の泳者を妨害した
		水着の規則	速力、浮力、耐久力を助ける道具を用いた
		テーピング規則	速力、浮力、耐久力を助ける水着を着用した
	10.9	不法入水	承認を得ていないテープを体につけて泳いだ
	10.10	オーダーに誤り	自分の出場しない競技で入水した
	10.11	第○泳者から第○泳者への引き継ぎ	リレーチームが4名で構成されていなかった
	10.12	他の競技者の不法入水	引き継ぎ違反(前の競技者が壁にタッチする前に次の競技者の足がスタート台を離れた)
10.13	オーダーに誤り	泳いでいないチームメンバーが競技終了前に入水した	
10.14	インターフェアー	リレーオーダーどおりに泳がなかった	
10.16	←	速やかな退水をせず、妨害行為になった	
	←	ペースメーカーとなる装置を使用した	
			ペースメーカーとなる行為を受けた